

ごはん讃歌

Profile

1950年、山口県下関市生まれ。1975年、北島三郎に弟子入り。1980年「みちのくひとり旅」が大ヒット。以降数多くのヒット曲を発表、多くのファンに支えられて活躍。1981年から連続14回紅白歌合戦に出演。2012年、「蓬莱橋（ほうらいばし）」絶賛発売中。



山本譲二さん

農業と聞いて思うのは

最近やっぱり気になるのは、野菜等の産地ですね。商品のラベルに生産者の方の名前などが入っていると安心します、食べる人が作り手を信用できるかどうか、これは大きいですよ。農業をやっている皆さんには、これからの元気を出していただきたいと思います。日本は資源などが限られていますから、そんな中でも米や野菜、果物などを作ることができると、皆さんこそこれからは一番強くなるんじゃないかと思えます。自分たちが頼りにできるのは生産者の皆さんだけですからね。

野球部でできた歌唱力

中学校から野球を始めて、高校では甲子園を目指してました。野球をやっている頃は練習もきつかったですけど、よく食べてましたね。練習の帰りに途中のうどん屋さんで、うどん一杯とお稲荷さんを二つ三つ摘んで、5分くら

北島三郎さんとの出会い

高校卒業後は、野球部の監督の推薦で地元の企業に勤めましたが、どうしても歌の道が忘れられなくて、東京に出てきました。東京で弾き語りしている時に偶然に作曲家の浜圭介さんにお会いして、浜先生のおかげでデビューすることができました。その曲は残念ながらヒットしませんでした。その後自分でもどうすればいいかわからなくなり、意を決して北島三郎さんを訪ねました。当時北島さんが新宿のコマ劇場で公演されていたので、その楽屋に訪ねていきました。楽屋

いであに着くんですけど、帰ったらどろどろ飯で2杯食べました。やっぱり米食わないと力が出ないです。今も元気なのはお米のおかげじゃないですか。野球部では、先輩に歌を歌わされました。「お前、野球より歌のほう、がうまいんじゃないか」なんて先輩に言われてね。その言葉を信じて歌手を目指しちゃったというところもありますね。

に入るわけにはいきませんから廊下で待っていました。北島さんが出てこられたら挨拶して、2時間ほどで舞台を終えて戻ってこられたらまた挨拶。一日が終わって帰られる時にまた挨拶。これを十日ほどやりました。ある日、楽屋から出てこられたので挨拶しました。北島さんが「君は何だ？」と始めて声を掛けてくれました。「自分はいつたんデビューした歌手ですが売れませんで、先生のところで修行をさせていたきたいのです」と言いました。「君はずいぶんがっしりしているけど、野球がなんかやっていたのか？」と聞かれました。「はい、甲子園に行きました」と答えました。そのとき先生が役で身につけていた森の石松の荷物を渡されたんです。「瞬迷いましたけど、あつこれはついていってこようかと思いましたが、修行生活のはじまりでした。いまから31年前のことです。それから7年目で「みちのくひとり旅」というヒット曲に出会うことができ、おかげさまでここまでくることができました。

野菜ソムリエのおすすめ

ソムリエというのは、本来は、レストランで「ワインを専門に」給仕する人のこと。フランスでは国家資格で、ワインに関するかなり高度な専門知識と識別能力を持った人と尊敬されています。そのワインを野菜に換えたのが野菜ソムリエです。

一口に野菜といっても、産地や品種、生産履歴、鮮度や価格、食味などさまざまです。健康志向の高い消費者は安心安全を基準に野菜を求めます。そこで野菜に関する専門家として野菜ソムリエが注目されるようになりました。昔なら近くの八百屋さんで、「これはどこでとれたもので、いっとう食べればいい」と教えてくれたものですが、ベテランの八百屋さんがめっきり少なくなつた今日では、野菜ソムリエがその役割を担うことになりました。

資格を持つタレントも

この資格を持つタレントも大勢います。たとえば、西田ひかる、高木美保、大桃美代子さんなどです。女性が多いのですが、田村淳さんなど男性のタレントが資格をとっているのが注目されます。

土作りの講義も

野菜ソムリエの資格を取得するために講義を受け、野菜についてさまざまな知識を学びます。野菜の種類、品種

男子厨房に入らずの時代は遠い昔。今は料理ができる男が評価される時代でもあります。

原産地、伝来のルーツ、選別のほか、野菜摂取の現状や生活習慣病との関係から農政、価格形成まで、あらゆることを勉強します。さらに、土作りや肥料、農薬、野菜作り全般について学びます。もちろん生産者の皆さんはご存じのことですが、野菜作りを白紙から見直すのも悪くない

資格取得は難関

資格をとるには、「日本野菜ソムリエ協会」か「日本ベジタブル＆フルーツマイスター協会」で受講しますが、どちらも初級コースから上級コースまであり、受講料は年十数万から三十万ほど。受講後に試験を受け、合格した方が資格を取ることが出来ます。後者の協会で資格をとったのは全国に一万五千人ほどいますが、シニアマイスターは十三人しかいません。

農家の方こそ野菜ソムリエになつてほしい

6次産業化への取り組みが盛んになり、生産者もただ作るだけでは通用しない時代に

のではないのでしょうか。

なりました。直売所や観光農園などもふえています。販売の現場に野菜ソムリエの資格を持った人がいれば、正しい知識が得られ、消費者の購買動向も変わってきます。この資格が生産者の付加価値になることは間違いありません。日頃野菜の生産にたずさわる農家の皆様にこそ、野菜ソムリエになつてほしいもの。そうすれば、大いに野菜の普及拡大につながるでしょう。



ASUMA 読者広場

当るといいな!

三菱農機ではトラクタ・田植機・コンバインの愛称を ASUMA に変更いたしました。皆様の一層のご愛顧をいただけるよう新ブランド ASUMA のキャラクター（アスマちゃん=下の絵）をつくりました。そこで編集部では楽しいプレゼントが当たるクイズを用意いたしました。この愛称を当ててください。

ヨロシクね!



下記の空欄○に相応しい文字をあてはめて送ってください。正解の方に抽選で「山本譲二さんのサイン入り色紙」と豪華プレゼント（ラバー軍手と LE ジャケット）が当たります。

お答えはハガキに①お答え②住所・氏名・年齢③その他ご意見・ご感想を書いて下記の宛先に2013年4月末日までにご応募ください。

クイズ 新ブランドのキャラクターの愛称は

「○スマ」ちゃんです。

お答えは下記へどうぞ▼
〒141-0031 東京都品川区西五反田1-5-1
三菱農機(株)事業本部 アスマ編集部



アスマオリジナルラバー軍手と LE ジャケット

三菱農機アスマ編集部へのご意見・ご感想・励ましの言葉ありがとうございました。

- 尚、前号の当選者は下記の通りです。色文字の方は色紙とも。
- 重田正子 / 佐賀県佐賀市 ■ 斎藤喜穂 / 山形県山形市 ■ 梅宮裕美 / 福島県大沼郡 ■ 小松彰 / 山形県西置賜郡 ■ 益子千代子 / 茨城県常陸大宮市
 - 武田敬三 / 福島県相馬市 ■ 須永雄吾 / 埼玉県鴻巣市 ■ 野村昌徳 / 岐阜県羽島市 ■ 岡部 優 / 香川県三豊市 ■ 橋正義 / 大分県日田市

本社 島根県松江市東出雲町揖屋 667-1 ☎ 0852(52)2111(代)

事業本部 東京都品川区西五反田1-5-1 ☎ 03(5759)8060
(東京事務所)

- 東日本三菱農機販売(株) 埼玉県久喜市桜田2-133-4 ☎ 0480(58)9524
- 北海道支社 ☎ 0123(22)1234 関東甲信越支社 ☎ 0480(58)9521
 - 東北支社 ☎ 022(207)3711 東海支社 ☎ 052(419)6721
- 西日本三菱農機販売(株) 岡山県瀬戸内市邑久町豆田161-1 ☎ 0869(24)0805
- 北陸支社 ☎ 0776(27)3078 九州支社 ☎ 0942(84)1888
 - 西日本支社 ☎ 0869(24)0820



ホームページ http://www.mam.co.jp/

ASUMA

Agri Support Machinery by Mitsubishi

三菱農機ユーザー情報誌

三菱農機だより

通刊

vol.17

クローズ
アップ

特集

経営基盤強化と 6次産業化の取り組み

- ASUMA製品と保証制度
- ASUMA新製品情報
- 三菱ユーザー紹介(熊本/岡山)
- ASUMA農業ファイル
6次産業 他
- ごはん讃歌 山本譲二さん
- 野菜ソムリエのおすすめ
- 読者広場

食と彩

ASUMA
2号

明日の農業と健康を考える

日本という風土が四季に彩られているからでしょうか、
古来日本食では色合いを楽しむ習慣が育まれてきました。
旬の味や新鮮さに色合いを加えることにより、
おいしさを実感させてきたのです。

野菜や果物の色素にはフィトケミカルという物質
が含まれています。トウモロコシの黄色にはルテイン、
トマトの赤にはリコピン、ニンジンオレンジ色には
カロテンという成分が含まれており、

これらの中には抗酸化作用や抗発ガン性を示す
ものもあります。色素は健康にも大いに
影響を与えているのです。

私たちはもつと色どりに恵まれていることを自覚し、
食や生活の豊さを実感したいものです。